

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

(株)ジェイエイヤましてろファーム代表取締役専務

辻 光男さん

井手町の農業生産法人「(株)ジェイエイヤましてろファーム」は、JAが主導する府内初の農業生産法人として、JA京都やましてろが資本金1000万円のうち98%を出資し2013年に誕生した。

代表取締役専務の辻光男さん(61)は「山城地区は都市近郊の立地条件を生かした農業が盛ん。それでも高齢化による担い手不足、耕作放棄地が増えている。当社が人づくりに取り組み、もつかる農業のモデルとなりたい」と話す。

合併前の山城多賀農協時代か

地域農業振興拠点に



▶ 担い手育成など地域農業振興の拠点を目指す辻専務

ら取り組んでいた農作業受託を引き継ぐため、同町に本社を置いた。現在、2人の研修生がハウスでトマトや万願寺とうがらしなどの栽培技術を学んでいる。今年度から府の事業を活用

して、敷地内にハウス5棟を設置。養液栽培を取り入れた研修を進める他、イチゴの観光農園にも挑む。JAの子会社という信頼の高さで水稲の農作業委託の申

し込みが多くあり、現在は8畝の田植え作業に励んでいる。さらに、同社が保有する農地約2畝で、水稲や万願寺とうがらしなどの生産・販売にも取り組み、研修生が独立した際の農地として利用する計画だ。

辻さんは「当社が人づくりに進め、いろいろなことに取り組むことにより、もつかる農業の可能性を引き出して、地域農業振興の拠点となることを目指したい」と話す。

■法人所在地 井手町多賀流田19の3、(電)0774(82)5400。

■法人概要 2013年7月設立。役員3人、従業員4人、パート8人。主な農産物は、水稲・ト8人。主な農産物は、水稲・ト2畝、施設園芸(トマト、万願寺とうがらしなど)72畝、農機はトラクター1台、田植え機・コンバイン各2台。